

富岳会

(松永 孝男 議員)

問 第5次富士宮市総合計画の後期基本計画の策定手順と骨子を伺う。

部長 平成33年度から37年度までの第5次富士宮市総合計画後期基本計画の策定については、31年度は、市民アンケート調査を行い、現状分析、問題点・課題の整理を行う予定。32年度は、土地利用計画や各部門の計画を盛り込み、後期基本計画の素案を作成する。この素案をもとに全員協議会やパブリックコメントで意見を集約し、32年度末までに計画を策定する。

後期計画の骨子については、人口減少と地域経済の縮小を克服するため、地方創生の取り組みをより深めたものとSDGsの要素を反映させたものを盛り込みたいと考えている。

問 SDGsの持続可能な開発目標を将来にわたって維持し続けるためには、市民の理解と協働が不可欠だが、どのように機運の醸成をしていくの

か。

部長 SDGsの推進には、市民の理解と協働が不可欠であることは認識している。富士山まちづくり出前講座の開催や、啓発グッズの作成により周知を図る。また、既存の事業にSDGsの目標になるものが多くあり、既にSDGsにかかわっていることを認識してもらい、これらの事業に効果的に17のアイコンを掲示して、市民に周知を図っていく。

所感 市民と行政が一丸となって、輝く富士宮の未来のために目標を達成していきたい。



▲ SDGs（持続可能な開発目標）で掲げる17の目標にちなみ17色で彩られたSDGsバッジ

日本共産党議員団

(渡辺 佳正 議員)

各々項目別に質疑を行いました以下のような所感です。

- 1 議会からの提案（市民の要求）が重点施策の随所に盛り込まれていることを高く評価する。
- 2 政府の公文書改ざんや不正統計調査などで景気判断の根拠が大きく崩れている中で、国の景気判断に基づく消費税増税を前提とした市の姿勢には疑問を感じる。
- 3 SDGs元年というからには、市政の課題とSDGsの視点をどう関連付けるかを市民に理解していただけるように、丁寧な説明と実践が今後求められる。
- 4 「人口減少社会に打ち克つ」という表現から一歩踏み込んで、子育て支援や真の働き方改革な

どで10～20年後には富士宮市の人口減少に歯止めをかけて、将来的には人口増加を目指していくという姿勢を明確に打ち出していきたい。

5 企業ガイドブックの配布やインターネット配信で、富士宮市への就職を希望する若者が増えることを大いに期待する。

6 河川・山林の整備や地区防災計画の策定による防災対策、地下水・環境保全の観点から強く求められる家畜ふん尿対策、子育て支援とともに人口減少時代に求められる本物の働き方改革などの重要な施策が、施政方針の中で直接言及されていないことを残念に思う。

7 わくわくキッズスペースプロジェクトの開設や放課後児童クラブ利用料減免制度の導入を高く評価すると同時に、今後のさらなる展開・拡充を大いに期待している。